

標十五句

松岡隆子選

笹鳴の向きを変へたるときのこと
工房に生漆眠る冬の月
自づから句帳が日記書き始む
大鍋に火が廻り年改まる
木を奉り巖を奉りてお元日
風花の舞ひたるあとの空ろかな
取り直しとふ初場所の大一番
昼からは小雪となりぬ達磨市
潜るとき首に勢ひやかいつむり
北風吹くを鼠小僧の墓参り
恵方とてバス乗り継いで乗りついで
人の世の出会い色々初句会
車椅子家族で囲み厄詣
七草の過ぎ常の日の早寝かな
寒に入る朝の白湯に身を解き

峰岸よし子
松原ふみ子
加藤暢一
別府優
佐藤郭子
鈴木綾
室井千鶴子
相馬晃一
広渡詩乃
濱地恵理子
酒井豊子
中島紀子
珍田千代子
長束フミ子
佐橋美智子